

平成 29 年度 静岡大成中学校 学校評価書

評価対象	評価項目	具体的取り組み	自己評価		学校関係者評価委員会	
			評価点	学校としての反省と改善策	評価点	ご意見
1 自己開発に励む生徒を育てる。 物事に主体的・計画的に粘り強く取り組み、生活の充実を生み出す力を育てる。	生徒の主体性を育てるためにクラス・学年・行事・生徒会・部活動などにおいて、指導の工夫をし、一層の活性化を目指して取り組ませる。	自立した集団の一員となるよう、活動や行事の意義を理解させ、主体的行動を生み出す指導を心掛ける。	A	発達段階において中学生は個人差が激しい。親離れ(子離れ)の出来ていない生徒(家庭)の自立心の向上を促したい。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生は、心身ともに難しい年頃であり、また、いろいろな地域の学校から来ていることから、その指導には苦勞されていると思うが、是非、粘り強く指導に当たってもらいたい。</li> <li>1P ノートや級別テストは、基礎力を身にさせる意味でも重要と思われる。地道な指導をお願いしたい。</li> <li>スリーライトクラスについては、その授業内容、時間数、時間帯等も含めて、より生徒の意欲を引き出す方法の具体化を是非お願いしたい。</li> </ul>
	生徒の個性や能力を発見し、指導の充実を図る。	個性に応じた指導を心掛け、生涯にわたり親しむことの出来るスポーツや文化・学び方の素地を育てる。	B	早い段階から目標を持つ生徒が多く、指導はしやすい。1年生については人数が多く、個々への対応に少し甘さが残った。	B	
	計画性を持って資格取得に励み、挑戦する意欲や、物事をやり抜く力を育てる。	学習・行事・委員会活動・部活動・資格などへの目標や意義を理解させ、達成への助言を心掛ける。	A	目標を立て、その達成に向けて地道に努力できる生徒を増やすことができた。さらに継続性・計画性を高めたい。	A	
	「朝自習」「級別テスト」「1P ノート」の充実を図り、内発的学習意欲と確かな学力を養う。	統一した指導心掛け、学習習慣や自学自習力を養う手助けをする。	B	級別テスト合格に対する高い意欲を保つことが出来た。1P ノートについては“やらされている感”からの脱却を図りたい。	B	
	満足度の高いスリーライトクラスになるよう、年間指導計画のもと中学部が一体となり進路目標達成を目指す。	学習効果を最大限発揮されるよう生徒の意欲を引き出し内容の濃い授業を心掛け高い学力を養う。	A	学力の二極化が加速する中で、開講15年目を終えるスリーライトクラスのあり方について検討する時期に来ていることと感じている。	A	
2 けじめのある生徒を育てる。時間を有効的に活用し、より充実した学校生活を送らせ、進路実現に努める。	基本的な生活習慣を確立させ、「やるべきこと・守るべきこと」が実行できる生徒を育てる。	責任ある社会人の育成をめざし、決められたことや約束事が実行できる姿勢を育てる。(ルールの遵守・授業時の態度・提出物の期限厳守・係りとしての責任感等)	A	学校行事や部活動において、意欲的に取り組む姿が見られた。上級生の責任感の意識づけも順調だと感じている。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の指導を一人ひとりの先生に任せるのではなく、教員全員で育てる意識を醸成しているとのことであるが、担任の放任へのリスクよりも、教員の孤立化の防止の観点からも、この取り組みを進めて行かれない。</li> <li>SNS や LINE については、インターネット安全教室やネットパトロールを行っているとのこと、また、来年度からは、ネット依存度テストにも取り組むとのこと、親も心配していることだと思う。成果を期待する。</li> <li>学校での携帯の取扱いについては、学校がどこまで責任を持てるのか考えるべきだと思う。保護者にも責任があることを保護者に訴えていくのもいいと思う。保護者とも連携を取りながら、学校として一つの方針を出されるといいと思われる。</li> </ul>
	授業規律を整え、落ち着いた学びの環境を作る。	チャイムで始まる授業、机上や身の回りの整理整頓、授業開始・修了の挨拶などに意識的に取り組む。	A	1年生のベル着に甘さが残った。整理整頓や始業・終業の挨拶については今後も全教職員で継続的に指導していきたい。	A	
	規範意識を高め、社会や家庭、学校のルールの遵守を心掛け、反社会的行為の未然防止に努める。	安心・安全に生活するルールを生徒・教員・家庭が理解し、信頼関係を築く。自らも社会や職場のルールを厳守する。	A	1.2年生の一部に情緒が不安定な生徒がおり、安心できる生活空間を築くのに苦勞した。継続的に指導していきたい。	A	
	SNS や LINE などを利用した情報伝達方法のマナー指導を行う。	インターネット安全教室を利用しながら、日常的に安全な使用方法についての指導し、理解を深める。	B	入学早々1年生の中でLINEのトラブルが発生した。その後、家庭の協力のおかげで深刻化するような問題は起きていない。	B	
心身の健康管理、規則正しい生活習慣の確立を目指し、欠席・遅刻・早退を安易にさせない。	「心身の健康は正しい生活習慣から」を意識させ遅刻・欠席・早退を安易に認めず、積極的、意欲的に学校生活に取り組む力を育てる。必要に応じてカウンセラーの援助を受ける。	B	一部の生徒ではあるが、深夜のスマホ・ゲームが深刻な問題となっている。家庭の協力を得ながら対処していきたい。	B		

評価の基準 A 達成できた B おおむね達成できた C あまり達成できなかった D ほとんど達成できなかった

3 礼節を尊び敬愛と感謝の心を育てる。相手を敬い感謝する態度や社会に奉仕する心を養う。	登下校時、授業時、校内でのマナーアップを心掛けさせる。	登下校時・授業時・校内での過ごし方など基本的なマナーを常に教え導く。	A	大人や目上の人への態度には問題はないが、同級生に対する態度や言葉遣いにはまだまだ改善の必要がある。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学では、先生よりも先輩を見て行動することが多い。その意味では、上級生が後輩を指導する意識を高めることは十分意義がある。努力をお願いしたい。</li> <li>・挨拶に関しては、学校に用事がある場合も爽やかで明るい挨拶をしてきてとてもいいと思う</li> <li>・行事の時は褒められることが多いが、普段の学校生活に対して生徒に関する苦情が少ないとは言えない。注意された状況、注意した人の言い方にもよるが生徒が自然に謝罪の言葉が出るような雰囲気づくりも必要と思う。地道な努力をお願いしたい。</li> </ul>
	挨拶や返事の出来る生徒、品位ある服装や容姿を心掛けさせ、人の話を聞く姿勢の確立を図る。	挨拶、服装容疑、立ち居振る舞い、コミュニケーション力を心掛けさせ、社会から評価を受ける大成の生徒を育てる。	A	学年が上がるにしたがって凛々しきは身につけてくるが、1.2年生のうちから徹底させたい。	A	
	部活動や学校行事などを通し、集団への帰属意識を育て、規律や礼儀を重んじる姿勢を育てる。	集団の一員として責任感を育てると共に仲間と力を合わせて作り上げる協調性を育てる。	A	中学生にとっては、クラスや学校よりも部活動に対する帰属意識の方が高い。部内での指導を学校全体に広げていきたい。	A	
	清掃活動や身の回りの整理整頓を通して、物を大切にすること、感謝の心、社会に奉仕する心を育てる。	清掃活動やボランティア活動を通して、社会に奉仕する心や物を大切にすることを育てる。	A	毎日の清掃活動にはみな真面目に取り組んでいる。生徒会を中心に清掃やボランティア活動にも積極的に取り組んだ。	A	
	生命尊重や思いやりの心を大切にして、多くの人と共に自分がある事への感謝の気持ちを養い、協調性やコミュニケーション力の豊かな生徒を育てる。	いのちの重さを理解させると共に周囲の人々に支えられて生活していることへの感謝の念を育てる。多様な仲間の考えや立場を理解し相手に配慮できる心を育てる。	A	人を傷つける言葉を軽々しく口にする生徒がいる。今後も謙虚さや他者への思いやりの大切さについて理解を促していきたい。	A	
4 生徒一人ひとりの能力と適性が最大限に生かせる進路実現に努める。	第1学年は自己理解のもと、適正や将来への希望を生かした進路実現を考えさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間の進路指導の流れを理解、熟知し、生徒の個性や適性を生かした進路指導を考える。</li> <li>・早い時期から外部の進路説明会やオープンキャンパス等への参加を促し、進路意識を育て目標を持った学校生活を送らせる。</li> <li>・生徒・保護者との信頼関係を築くと共に面接等の話し合いを繰り返し、意思の疎通を十分に図り納得できる進路決定に至るよう努める。</li> <li>・進路に関する情報を共有し問題点は学年でよく話し合い進路部と連携して指導にあたる。</li> <li>・将来の目標や進路を見通した中で必要な資格に挑戦させ計画的に取り組む意欲を育てる。</li> </ul>	B	<p>各学年の発達段階や進路意識を考慮しながら、指導することができた。夏休みには16名の卒業生が来校し、後輩たちに受験勉強のアドバイスをしてくれた。それ以降、日々の学習に対する意識の変わった生徒も多数見られた。</p> <p>3年生については、全員に2校以上の説明会に参加させた。夏休みの三者面談を皮切りに、定期テストや外部模試の結果が出るたびに本人・保護者と密に連絡を取り、志望校を決定した。</p> <p>1年生のうちから、高校受験に向けた「気づき」を促す方策を考えたい。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生から話を聞くことは、最も身近な経験者から進路に関するノウハウを聞くことである。本年度は16人からの卒業生が来校し、アドバイスをしてくれたとのこと、たいへん良い伝統ではないかと思う。是非続けてもらいたい。</li> <li>・本年度も説明会に2校以上参加させているとのこと。進学校に多くの生徒を送り込んでいるが、異なる学校の様子を聞き、比較することは進路決定に大いに参考になる。継続していただきたい。</li> <li>・検定については、今後もよろしく指導をお願いしたい。</li> </ul>
	第2学年は目標達成に必要な学力を身につけさせると共に保護者に対して進路情報を与える。					
	第3学年は目標達成のため、最大限の能力を発揮させ、進路実現・自己実現を図る。また、進路情報や知識の習得に努め、生徒や保護者に的確な情報を伝え、進路実現に向けた支援体制を強化する。					
各種資格取得率の向上を図り、進路決定に生かす努力をさせる。	各種検定の取得は進路決定時の大きな要因となるため、生徒に合った目標を立てさせ、主体的に取り組ませる。	B	英検や漢検、数検などさまざまな検定の合格に向けての指導や補習をおこなった。英検は卒業までに全員3級取得をほぼ達成し、準2級合格者も多数出すことが出来た。	B		

評価の基準    A 達成できた    B おおむね達成できた    C あまり達成できなかった    D ほとんど達成できなかった

5 授業力を高め、教育の質の向上に努め信頼される学校・信頼される教員を目指す。	研究授業・公開授業に積極的に取り組み〔主体的・対話的・深い学び〕を意識した指導方法について若手教員のみならず全教員が研修をつみ授業力・学校力を向上させる。	・校内での研究授業・公開授業や外部の研修会に積極的に参加し、授業の質の向上に努める。 ・授業の目標を明確にし、わかる授業を心掛け学びの楽しさを感じる事の出来る生徒を育てる。 ・AL や ICT 機器を積極的に活用し、双方向型を意識した授業に取り組み、生徒の学習意欲を向上させる。	A	学力の二極化が激しくなり、特に1年次の「わかる」授業のレベル設定に苦慮している。ICTはタブレットや可動式のプロジェクターなどを積極的に授業に取り入れることができた。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学は、授業公開や研究授業を積極的に行い、保護者や同僚から多くの意見を聞いていると聞く。一層の努力をお願いする。</li> <li>・授業評価アンケートは主観的と言われるが、全教員を比較すると客観的な状況が見えると聞く。昨年度から容易に授業評価ができるよう、マークシート方式からパソコン入力方式に変更したとのことであるが、授業改善等に積極的に役立てていただきたい。</li> <li>・タブレットや可動式のプロジェクター等を授業に積極的に取り入れているとのこと、多くの工夫をして授業の質をより一層高めてください。</li> <li>・システムに慣れてきたこともあり、また成績処理についてはダブルチェック体制をとっていることもあり、最近ミスは極端に減少しているとのこと。是非、より一層慎重、丁寧をお願いしたい。</li> </ul>
	生徒による授業評価を真摯に受け止め改善を心掛け質の向上を図る。	生徒の声を真摯に受け止め、自分の授業を振り返り質の向上を目指して常に努力する。	A	授業アンケートを参考に、さらなる授業力の向上に努めることができた。	A	
	生徒の変化(学習面・生活面)に気を配ると共に情報の共有を心掛ける。	授業態度や課題の提出内容等から生徒の生活の変化の表れを各担当者と連絡を取り合い共有する。	A	授業態度のみならず、課題の提出状況についても、常に情報交換することができた。	A	
	ICT 授業や AL に進んで取り組み深い学習を心掛ける。	学習に対する興味・関心度が高まり、深い学習に繋がる手段としての ICT 活用や AL となるよう工夫に努める。	B	アクティブラーニングについてはその指導方法について研鑽が必要だと感じている。	B	
	校務内規を理解し、授業内容や評価についての公平性・妥当性を心掛ける。	指導計画表を利用して、授業の進行、学習内容、学習の進捗等を確認し、先生間で内容や評価に不公平感が生じないように努める。	A	授業の進捗やその内容について、常に確認しながら展開することが出来た。配布物等も共通のものを使用した。	A	
	校務電子化に伴いデーター入力は慎重かつ正確さを心掛ける。	個人情報への入力に当たっては緊張感を持ち正確さを徹底し、責任を持って事に当たる。	A	事前の点検を強化したことで、成績処理や通知表作成もミスなくその業務を遂行することができた。	A	
	校務内規の意義をよく理解し、より良い評価を目指し積極的に取り組む。	各教科の観点が活かされるテスト問題作りを意識し、教科間で常に問題の妥当性について検証する。	A	2.3 年生については学力別クラス編成をとっているため成績に差はあるが、1 年生については公平性が保たれている。	A	
6 安心安全な学校、開かれた学校を目指す。	ホームページ等を利用し、保護者・卒業生・受験生が必要な情報や生徒の活動報告などを効果的に外部に発信し全職員が力を合わせて積極的広報活動を進める。	情報を提供する者、それを外部に発信する者がそれぞれの立場で本校の魅力を外部に向けて PR 出来るよう、広報活動においては全職員で取り組む。	A	本校HPの「今週の大成」や「部活の大会結果」では、中学部の先生方に情報を提供していただき、随時更新することができた。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒募集のためには、教員一人ひとりが広告等であるという意識の高まりが見受けられる。頑張ってもらいたい。</li> <li>・地域交流については今一つであったが、PTA 行事には、ほぼ全員が参加しており、保護者と有意義な交流が図られている。</li> <li>・地域防災の参加率は極めて高い。社会性を育むための一助としてもらいたい。</li> <li>・静岡福祉大学との連携に関し、中学とのかかわり方が難しいとのことであるが、学園が一体的に機能してくことが望ましいので、是非、知恵を出していただきたい。</li> </ul>
	国際理解教育を進めると共に本校の行事を利用し視野の広い生徒を育てる。	異文化を体験できる機会を上手に捉え多様なものの見方、考え方の出来る生徒を育成する。	B	週1時間確保されている英会話の授業だけが、異文化体験の機会であった。新たな試みを考えたい。	B	
	教育相談の充実を図り、いじめの早期発見や予防に努める。	いじめアンケートのみならず普段から生徒の様子を気遣い、人間関係を細かく把握できるよう細心の注意を払うとともに他の教員と内容を共有する。	A	いじめアンケートに対して速やかに対処することが出来た。大人の見ていない所で起こる問題への対策に苦慮している。	A	
	教育環境、施設設備や器具の定期的な点検を心掛ける。	地震や災害だけでなく普段の生活においても安全を意識し、事故を誘発することの無い環境づくりを図る。	A	年2回の防災設備点検。各学期末の施設設備点検は滞りなく実施した。点検のたびに破損が見つかる現状を改善したい。	A	
	PTA 行事や地域交流などに積極的に参加し、本校の教育の姿勢を示す。	PTA 活動や地域交流には積極的に関わり、本校としての取り組みを理解してもらおう機会とする。	B	PTA行事や懇親会について、中学部の教員はクラス担任を中心にほぼ全員参加することができた。地域交流については具体的な取り組みは出来なかった。	B	
	学園間の連携を心掛け、相互の発展に努める。	大学や幼稚園との連携を深めるよう積極的に情報を集めお互いの発展に努める。	A	高大連携における中学の関わり方を見出すことが出来なかった。幼稚園とは保育実習で交流を持つことが出来た。	A	

評価の基準 A 達成できた B おおむね達成できた C あまり達成できなかった D ほとんど達成できなかった